

令和6年度、北島小学校では、学校長が所属教職員から募った業務改善のアイデアをもとに、管理職と教職員が協働して、**ボトムアップ型の業務改善**に取り組みました。

学校における働き方改革の理想的な形

トップダウンによる
方向性の提示

ボトムアップによる
創意工夫

自らの意見やアイデアが
改革に反映されると…

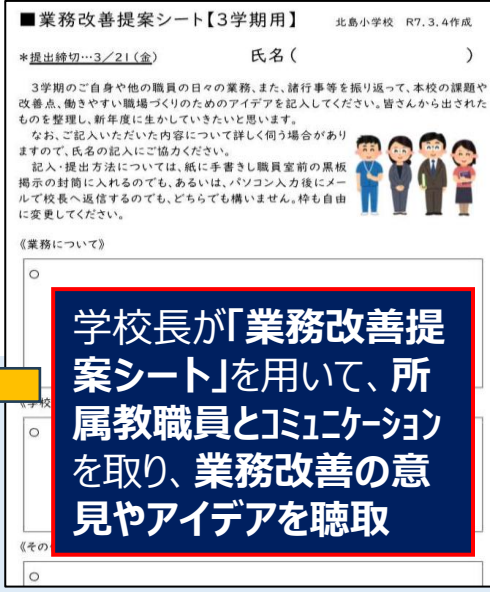
「やらされ感」⇒「**当事者意識**」



【令和6年度】教職員の意見・アイデアをもとに実施した業務改善 (一例)

- 職員室前の入り口ドアの鍵の改修
- 冬期における土日の水やり廃止
- 立哨当番の旗(保護者用)を個人持ちに変更
- 作品づくり(絵画・書写等)における学年分担の見直し
- 朝の交通指導の回数削減 (月3回 ⇒ 月2回)
- 個人懇談期間の拡大による時間的なゆとりの確保
- 終礼の回数削減 (週2回 ⇒ 週1回)
- 校納金の銀行口座登録をオンラインで対応
- 校納金会計報告の回数削減 (年度末の1回のみ)
- 通帳間の振替をオンライン化
- 連絡事項はグループウェア回覧板で周知
- 個人懇談の日程希望調査等をFormsで実施
- 児童の欠席状況をTeamsで情報共有
- 校務分掌表などのExcelファイルを共有化 (共同編集可)

「学年担任制」「教科担任制」の事例研究や
「校時表の再度見直し」についての検討も



学校長が「業務改善提案シート」を用いて、所属教職員とコミュニケーションを取り、業務改善の意見やアイデアを聴取

【令和7年度以降実施予定 (一例)】

- タイマー等設置により年間を通じた土日の水やり廃止
- 視力検査の効率化(必要機器を他校からレンタル)
- 授業時数の見直し
 - ・木曜日を5時間授業に
 - ・夏休み明けの1週間は給食ありの4時間授業に
- 夏休み中のプール開放中止
- 集団登校の班編制などの作成をPTA役員に依頼
- 保護者への文書配付は可能な限り連絡アプリでメール配信
- Google Classroomの導入・活用



学校教育の質の向上を校長のリーダーシップの下で実現するための前提として、教職員一人一人がその意欲と能力を最大限発揮できる環境を整える必要があることに鑑み、**学校における働き方改革を具体的に進めることも課題意識の一つとして持つことが重要である。**

(令和7年2月21日改正「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」より抜粋)